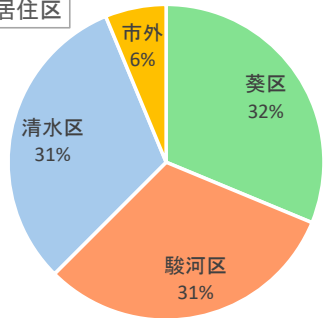


市民活動センター意見交換会 結果概要

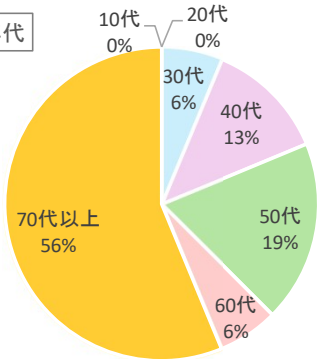
参加者概要

令和8年7月28日（火）番町市民活動センター 13名
令和8年7月30日（木）清水市民活動センター 7名

居住区



年代



①居住区 葵区5人、駿河区5人、清水区5人、市外1人
②年代 30代1人、40代2人、50代3人、60代1人、70代以上9人
※両意見交換会のアンケート回答者(16名)の集計による。
アンケート未回答者がいるため、参加者総数(20名)とは一致しない

アンケート等での意見

意見	市の考え方
生涯学習と市民活動は目的が異なり、どこまで連携できるのか	目的は異なるものの、地域課題の共有や学びの機会づくり等、双方の強みを活かした連携を進めていきます。
「市民活動に関する支援強化」とあるが、「強化」という言葉は抽象的すぎて、何が具体的に強化と考えているのか見えてこない	相談・伴走支援、地域の多様な主体とのつながりづくり等、市民活動センターが担う機能を充実させ、より効果的に市民活動を支援できる体制を整えていくことを考えています。
居場所として利用したい人と貸室利用の人では層が異なるため、運用に配慮してほしい	利用目的や利用者層の違いを踏まえ、それぞれの利用者が安心して利用できるよう、施設の運用方法を検討していきます。
キャンセルされた会議室の空き枠について、再貸出を可能にしてほしい	結果として使用されていない会議室でも、既に使用料を支払われた方がいる場合には、別の方に使用を許可すると二重に使用料をいただくことになるため、対応は困難と考えています。
利用者制限の撤廃について、世代間交流など、良い効果があるのかも	利用者の幅が広がることで、世代間交流や新たなつながりが生まれる可能性がある点は重要な視点と受け止めています。

当日の主な意見

意見

【市民活動センターについて】
センターの機能強化の方向性は賛同するが、地域へのアウトリーチなど専門性が求められる業務が増えることで、職員の負担が大きくなりすぎるのではないかと。

【市民活動センターについて】
「当面の間、番町及び清水の両市民活動センターの施設配置は維持しつつ」の中で示している「当面」とはいつまでか。

【市民活動センターについて】
「地域力」の定義が曖昧で分かりにくい。

【貸室について】
予約システムのオンライン化について、紙や電話による予約やオンラインでの手続きが難しい人への対応やサポートはあるか。

【貸室について】
NP0とそれ以外の利用者で予約開始時期を分けるのか。市民活動センターではNP0等の市民活動を優先するなど、既存の利用団体が不利にならない仕組みにしてほしい。

【貸室について】
施設の利用対象を広げ、様々な人が利用できるようにすることで、これまで施設ごとにあった特色や役割が薄れ、「施設の色」がなくなってしまうのではないかと。

回答

機能強化に伴い業務を拡充する場合は、それに見合った体制を整備する必要があると考えています。その対応について、現在内部で調整をしています。

「当面」を具体的に何年と設定しているわけではありません。まずは、ソフト面の機能・サービス改善に取り組み、施設の老朽化状況や人口構造の変化等を踏まえ、今後の施設のあり方・配置を継続的に検討していきます。

地域課題や地域資源の発掘・発信を通じて地域の力を引き出し、市民自治によるまちづくりにつなげていきたいと考えています。地域が自ら課題解決に主体的に取り組むことが、「地域力」の向上につながると捉えています。

オンライン化は利便性向上のため進めていきますが、紙や電話での予約が必要な方への配慮も必要と認識しています。予約システムの構築には時間を要するため、いただいたご意見を踏まえながら、予約方法等について検討を進めていきます。

市民活動センターでは市民活動での利用が優先されるよう、予約開始時期は、市民活動団体等と一般利用とで分ける方向で検討しています。施設の特性に応じた予約ルールを検討していきます。

施設区分や基本的な役割は引き続き維持するため、各施設の特色がなくなることはありません。従来の事業を継続しつつ、空いている時間や部屋を有効活用することで利用の幅を広げます。また、全世代が利用できる施設であることを広報等を通じて周知していきます。